

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和5年度第1回西脇市こどもプラザ運営委員会
開催日時	令和5年8月7日（月） 午後2時30分～4時
開催場所	西脇市茜が丘複合施設Miraie 多目的ホール
出席委員の氏名又は人数	田邊委員、萬浪委員、 前田（憲）委員、上井委員、下山委員 狭間委員、前田（貴）委員、横尾委員 （選出区分別50音順）
欠席委員の氏名又は人数	伊達委員、筒井委員
出席職員の職・氏名又は人数	伊藤部長、村井次長、長井課長、松本所長、 大嶋
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 こどもプラザの利用状況について 2 令和4年度事業実績報告について 3 こどもプラザの運営について（意見交換）
会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	○開会
部長	○部長あいさつ
事務局	○委員紹介 委員による自己紹介
	○会議成立の報告 委員8名の出席により会議成立の報告

<p>委員長</p>	<p>○傍聴者について 傍聴者なしの報告</p>
<p>事務局</p>	<p>○議事 議事 1、こどもプラザの利用状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>○会議資料 1 に基づき、事務局から説明 議事 2、令和 4 年度事業実績報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>○会議資料 2 に基づき、事務局から説明</p>
<p>委員長</p>	<p>議事 3、こどもプラザの運営について意見交換をしていきたい。議事 1、2 も含め何か意見等はないか。 小学校の視点から、質問、意見等はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>令和 4 年度事業実績報告を聞き、たくさんの取組がされている。現在、子育て中の保護者の方の意見が反映されることを願う。 昨年度の意見の中で、インスタグラムの配信のことが挙がっていたがどうなっているか。 夏休み期間中、小学校の職員ができるだけたくさんのこども園に出向き、園での様々な活動について知り、園小接続の取組を行っている。こどもプラザのつどい事業等にも出向き、子育てのスタートについても知ることは大事なことはないかと思う。 NPO 法人みなみ会の「夏休みの宿題をやっつけよう」の学習支援事業においては、様々な事情の家庭があるため、とてもありがたい取組である。以前は、教職員が学習会等をし、支援している時代もあったが不公平感もあるため、このような取組をしてもらえることはとてもありがたい。 今後も、様々な取組の中で、子育て中の保護者の方の支援をしていただきたい。また、学校側も、互いのことを知りながら、連携していきたいと思う。</p>

事務局	<p>インスタグラムについては、配信していないが、西脇市のホームページやフェイスブック、今年度からは子育て応援アプリで、事業等について随時配信している。</p>
委員長	<p>中学校の視点から、質問や意見等はないか。</p>
委員	<p>NPO法人みなみ会が実施している「夏休みの宿題をやっつけよう」の学習支援事業について、本日も茜が丘複合施設Miraieで、卒業生が学習支援者として参加している。平日、土日においても、大学生が子どもたちの見守りを行っていて嬉しく思う。</p> <p>みなみ会の事務所は、西脇南中学校舎の一角にある。事務所の様子を伺うと、学生支援者の手配や配置に、とても大変な思いをされている。そのような大変さもあることも知っていただきたい。</p> <p>プレママ・パパのつどい等の事業については、知らなかった。このような事業があることは、核家族には、講師の方に指導してもらえただけでなく、周りに同じような境遇の方がいると、つながることができ、様々な話を聞くことができ、心強さにつながるのではないか。そのような事業をされていることは、とても素晴らしいと思う。</p> <p>3世代パパ・ママ事業については、授業実数の確保のため、なかなか協力できない状況である。今後は、できるところは協力していきたいと思っている。</p>
事務局	<p>みなみ会の件では、こどもプラザ以外のところで子どもたちに関わってもらったり、学習支援をしてもらったりしている。保護者の中には学生時代の恩師もみなみ会の中におられ、つながりを感じることもある。子どもだけでなく、祖父母や父母、学生等、すべての方がつながり、子育て支援ができたらいいと思う。こどもプラザだけが居場所でなく、いろいろな居場所があっていいのではないかと思う。</p>
委員長	<p>みなみ会の方の大変さ、また、小学校、中学校では園を回られていると聞き、多忙の中であると思うが、素晴らしい取組をされている。先生方が子ども達のことを一</p>

<p>委員</p>	<p>生懸命に考え、見てくださっていることは忘れてはいけないと思う。</p> <p>他の委員より、質問・意見等はないか。</p> <p>ピアノの講師をしているが生徒の中に、いじめを受けている子がいた。一人で悩んでおり、学校に伝えていいか悩むことがあった。子どもたちの辛さを早く気づいて対処したいと思うが、気づかれない子も中にはいる。どのように関わったらよいか難しいと感じた。また、近頃はスマートフォンを使用し、子どもを見ていない保護者が多くみられる。保護者には、スマートフォンから目を離し、もっと子どもたちのことを見て、関わって、抱きしめてあげてほしいと願う。</p> <p>こどもプラザの職員は、子どもたちの辛さに気づいてもらい、子どもたちが安心できる居場所となるように取り組んでもらいたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員の意見を受け、子どもの居場所としての部分や、子どもたちへの声掛けに当たって、こどもプラザの職員はどのようなことを大事にしているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>こどもプラザの職員は、利用者に必ず声をかけ、関わるようにしている。先生という立場でもない、保護者でもない第3者だからこそ、子どもたちが話せることもあるのではないかと思う。子どもたちの様子や表情を見ながら、日々関わるように心がけている。</p> <p>数年前には、同学年であるのに友達に対して敬語を使う子がいた。力関係があったように感じたため、職員間で様子を見守り、福祉や学校と連携し対応したことがある。</p> <p>スマートフォンの利用については、こどもプラザ内は、Wi-Fiを切っている。こどもプラザに来館している間だけでも、親子でしっかり関わって遊んでいただけるよう声をかけている。</p> <p>委員から、子どもをしっかり抱きしめることについて意見があった。こどもプラザでは親子交流教室の中で、必ずふれあいの時間をつくり、親子がしっかり関われるようにしている。</p>

委員長	<p>お子さんがおられる視点から、意見・質問等ないか。</p>
委員	<p>2人の娘がいるが、こどもプラザの様々なつどい事業や児童館事業に親子で参加している。家庭で閉じこもっているよりも、楽しく発散できる場があることに感謝している。</p> <p>実績報告の中で、児童館事業の定期的な遊びの中で、体操リズム遊びが月7回年間106回開催されているが、どのような事業であるか教えてほしい。</p>
事務局	<p>体操については、こどもプラザの中で季節の音楽に合わせて親子で体操をしている。児童館での事業がない日に限り、10時ごろから行っている。現在はアンパンマン体操や、7月はラジオ体操も行っている。</p>
委員	<p>利用している子育て中の保護者からの意見として、7点聞きたいことがある。</p> <p>1点目は、先に尋ねた体操リズム遊びについて、子どもたちは体力が有り余っているため、身体を使った遊びの事業をつくってほしい。児童館事業の中には、ドラム教室やクッキング教室、ソーイング教室等はあるが、身体を使う事業や教室がない。こどもプラザにあるエア遊具を有効活用し、思いっきり身体を使って遊ぶことができる機会をつくってはどうか。また、クッキングやソーイング教室は、西脇高校生活情報科の生徒が指導者として活躍している。体操リズム遊びについても、同じく高校生等が活躍する場になればいいのではないか。</p> <p>2点目は、ボランティアグループ委託事業について、きらきら広場は、年間12回88人の参加である。この事業は午後に開催されているが、午睡の時間と重なるため、参加できにくいのではないか。午前中開催を望む。</p> <p>3点目は、こどもプラザ利用時の、靴下着用についてである。夏場は、サンダルで過ごすことが多く、初めての利用者には周知できない。その日のみ、着用せずに利用してもよいと職員の方が優しく声をかけていた。しかし、許してしまうとルールを守っている側は、疑問に感じる。靴下販売や、足の消毒等、検討してもらいたい。</p> <p>4点目は、イベントについてである。先着順のイベン</p>

	<p>トを予約形式にすることはできないか。楽しみにしてイベントへ行っても、定員に達していて参加できないことがある。</p> <p>5点目は、西脇市の健診と、親子交流教室が、過去に同日に行われ参加できなかったことがある。市と情報を共有し同日にならないようお願いする。</p> <p>6点目は、こどもプラザの事業の中で、同じような事業があるように思う。たくさん事業があるため、職員の負担も大きいのではないか。児童館事業の出張こどもプラザとこどもプラザ事業の出張みんなのつどい事業を一つにすることで、負担が減るのではないか。また、出張こどもプラザは、園児対象の事業。出張みんなのつどいは、就園していない地域の親子も園児と共に、参加できる事業だと理解している。出張こどもプラザも、地域の親子が参加できるようにし、まとめられる事業はまとめると良いのではないか。</p> <p>7点目は、託児についてである。365日子育てをしていると、時には辛い日もあり、どこかに逃げ込みたいという気持ちになる場面もある。そのような時に、助かるのが託児である。親子交流教室の勉強会時の託児は保護者の学びの確保という面で力を入れてもらっている。しかし、その他にも心に余裕がない時に、託児をしてもらうことで、新たな気持ちで子どもに向き合えることもあるのではないかと思う。</p> <p>子どもを連れて市役所の手続きに行くと落ち着いて手続きができない。市役所の一角に託児スペースをつくってもらい、予約制で託児してもらうことはできないか。親が勉強のために使う託児はマストの託児である。それと共に、あればとても助かるような託児を今後、検討してもらいたい。</p>
委員長	<p>7点質問があったが、実際に利用されている保護者の意見を受け、事務局からの回答をお願いする。</p>
事務局	<p>1点目、教室の中では、体幹を鍛える遊びを取り入れたり、土曜、日曜にはサイバーホイールや、トランポリンを出したりして身体を十分に動かして遊ぶ時間を設けている。また、小中高生を対象に、卓球ができる時間も</p>

ある。

2点目、きらきら広場については、午後からの利用者は少ないが、この事業はお子さんが午睡をせず困っている保護者を対象にしている事業であるため、午前中の開催をしていない。

3点目、靴下については、こどもプラザ内は、カーペットであるため夏場は匂いがする。高圧スチームで掃除や除菌をするなど、衛生面を考慮して対応している。

靴下を履いていない方に対しては、遠方から来てくださっている方には、次回利用時は気を付けていただくようお願いし、利用していただいている。頻繁に利用していただいている方が忘れている場合はお断りしている。皆さんに気持ち良く利用していただけるよう、職員も説明をきちんとできるように心がけている。また、靴下販売については、施設と検討していく。

4点目、イベントの定員については、屋外のイベントは、ある程度余裕をもって遊んでいただけるよう工夫している。しかし、屋内でのイベントは、スペース的に難しいことと、新型コロナウイルス感染症もまだまだ気を許すことができない状況であるため、定員を決めている。

8月11日に夏まつりを実施する。先着順にしているが、できる限り楽しんで遊んでもらえるようなブースを用意している。今後も皆さんが楽しんでいただけるよう工夫しながら実施していきたい。

5点目、健診と親子交流教室が同日になることを避け、実施日を決定するようにしている。今後、各課と連携し実施日が重ならないようにしていく。

6点目、出張こどもプラザは、こどもプラザにある遊具を、就園している園児対象に、身体を使った遊びや、手先の巧緻性が高まるような遊具を持参し、職員が関わりながら遊んでもらう事業である。出張みんなのつどいは、ふれあいをメインにしたつどい事業であり、2つの事業は目的が違う。

7点目、託児について、こどもプラザで行っている事業の中では、保護者の方の学びの確保ということで託児を行っている。交流教室以外の託児については、こども園の一時預かりや、西脇市がシルバー人材センターに委託しているファミリー・サポート・センター事業の利用

委員長	<p>を検討していただきたい。</p> <p>委員、質問や意見はないか。</p>
委員	<p>親子交流教室や、こどもプラザの事業に親子で参加し、子育て、親育てをしてもらってきた。</p> <p>1点、自分の実体験から思うことがある。市外から嫁ぎ、妊娠中は周りに知っている友達がおらず、家族との会話が主であった。このようなつどい事業があると、同じ境遇の方々をつながることができる。また、妊娠生活の不安が減り、孤独な子育てをする方の助けになるのではないか。報告を聞くと、出産後のぴよぴよのつどいや、ベビーのつどいの参加人数は多いが、プレママ・パパのつどいの参加人数は少ない。情報発信して、参加人数が増えるようにしていけると良いのではないか。</p>
委員長	<p>委員、質問や意見はないか。</p>
委員	<p>放課後の学童に行っている。両親とも家を空けることが多いので、助かっている。</p>
委員長	<p>委員、質問や意見はないか</p>
委員	<p>こどもプラザの事業は、アイデアがたくさんある。市外の方が、「こんな施設があっていいね。」「（県外から）帰ってきたらこの施設をよく利用する。」等の声をよく聞く。今後たくさんの方に利用してもらいたい。</p> <p>みなみ会では、先ほどの意見にもあったように、Miraieで、毎日放課後、学習支援や、子どもたちと遊んだりする等の支援を行っている。「夏休みの宿題をやっつけよう」の事業は、教職員OBや大学生、高校生が支援者として各地区で行っているが、利用人数が少ない地区がある。このような機会はあまりないため、もっと利用してほしい。どうしたら利用する子どもたちが増えるか、それと共に、こどもプラザの利用人数においても、情報発信の仕方を考えることが必要かと思う。</p>
委員長	<p>事務局からは回答等はないか。</p>

事務局	<p>プレママ・パパのつどいは、厳しい参加人数である。勤めておられる方が多いことと、平日の事業であるため参加人数が少ないと考える。休日にしてはどうかという提案もある。</p> <p>今年度から、妊産婦の健康づくりの事業を、はぴいくサポートセンターと一緒にやることになっている。</p> <p>新たに妊産婦の健康づくりとして、「健幸スマイルスタジオ」を9月末からやることになっている。9月号の広報等でも情報発信する。この事業は、妊婦（16週以降）及び産後3年未満の産婦を対象に、オンラインスタジオ（週2回）対面スタジオを、Miraieで（月1回）実施する。内容については、体操と、助産師や保健師による相談、参加者同士の交流である。これまで、お母さん自身の身体の健康づくりは実施していなかったため、自分の体、時間を大切にしてほしいという願いを込めて実施していく。</p>
委員長	<p>今後の新しい動きもご期待いただきたい。</p>
委員	<p>1点、聞きたい。Miraieは校区外の子ども達は利用できないのか？</p>
事務局	<p>どなたでも利用できる。しかし、低学年は校区内での活動と決められている。低学年においては、保護者の方と一緒に利用してもらうようお願いをしている。</p>
委員長	<p>まとめにはいると、いろいろな立場の方がこのまちをつくり、子どもの居場所について検討することはとても大切であるということが改めて認識できたのではないか。重要なのは、どの視点に立つかということである。子どもの視点、保護者の視点、支援する側の視点、伝える側もいろいろ視点がある。お互いが折り合いをつけながら次の視点に向かっていくことが重要ではないか。</p> <p>伊藤忠商事（株）が、SDGsの取組として、こどもの視点カフェをつくっている。すべてこどもの視点である。私たちは、どの視点から見ていくことが大切なのか、今</p>

事務局	<p>回の意見を聞いていて感じたところである。</p> <p>委員の皆様から、多くの貴重なご意見をいただいたので、今後の事業運営に反映していただきたいと思う。</p> <p>○議事終了</p> <p>皆様から頂きましたご意見、知恵をお借りしながら、こどもプラザが市民の方にとって、より身近で安心して遊び、学び、つながれる場所になるよう、前進していきたいと思う。</p> <p>議事録については、ホームページなどで公開予定である。</p> <p>○閉会</p>
問合せ先	<p>西脇市福祉部こども政策課 こどもプラザ</p> <p>TEL 0795-25-2801 / FAX 0795-25-2220</p>